

祝
日本一

特集

全国コンクールで総務大臣賞！

自治体広報の甲子園といわれる「全国広報コンクール」（日本広報協会主催）の令和7年結果が発表され、「広報やいた」2024年12月号が広報紙（市部）で総務大臣賞、2024年3月号が広報写真（一枚写真部）で入選しました。

この結果は、いつも快く取材に対応してくれる地域の皆さんのご協力があってこそ。心からの感謝を込めてご報告いたします。



詳しくはこちら

広報紙（市部）**全国1位**



総務大臣賞

広報やいた 12月号

2024年12月1日発行

特集「ワクワク学びは止まらない」

広報写真（一枚写真部）**全国5位**



入選

広報やいた 3月号

2024年3月1日発行

特集「チイキノカタチ」

講評【日本広報協会より】

「生涯学習フェスティバル」の様子をつづった特集。テーマとしては年齢層の高い参加者になりがちなところを、高校の新聞部との共同企画にして解決している。若い人が一緒に関わることの長所が出ている。生き生きとした市民の姿が多数掲載されており、市の活動が多くの人々によって支えられていることが一目で伝わる。

左とじの冊子で横書きを採用している。ページをめくってからの目の動きに無駄がなく、理想的なレイアウトだと言える。行政情報は取捨選択して整理し、一つ一つが大きく取り上げられている。さらに、見出しと本文が読みやすく構成されており、適切に整理されたレイアウトにより、全体を通して完成度の高い広報紙に仕上がっている。

講評【日本広報協会より】

地域の人々が立ち上げた放課後教室「ひまわりスクール」開設10周年記念によせ、360度カメラを使って「ひまわり」を表現した一枚。表紙としてのインパクトが強く、見る者の目を引く仕上がりとなっている。ありきたりな集合写真にはないユニークな構図と明るい笑顔が目を引いた。校章を中央に配置してより印象的に仕上げている。バンザイをすることで写真に動きと表情の柔らかさが表現されひまわりを連想させるなど、工夫が見られる。360度カメラのような新しい機材は扱いの難しさがある。積極的に挑戦した姿勢は、表現の幅を広げる上で高評価。いつもとは異なる撮影方法にみんなでチャレンジしていく過程や、表紙が刷り上がった時の感動まで、すべてがよい思い出になったのではなかろうかと想像できる。

総務大臣賞受賞記念企画

だいじさんが矢板市をお祝い！



やいた応援大使
だいまじん だいじ

矢板の魅力を発信するコーナー「やいた大好き」（とちぎテレビ・イブ6プラス内）を担当するやいた応援大使である山根 大嗣こと、だいまじん・だいじさんに今回の受賞をたくさんお祝いしていただきました。

やいた大好き
放送の様子はこちらから



YouTube

感謝ナリ
みんなのYaita
日本一



矢板市の皆さん、こんにちは。だいまじん・だいじです。番組でもお伝えしましたが、矢板市が広報紙（市部）で総務大臣賞を受賞することは、栃木県としても初の快挙、広報写真（一枚写真部）でも入選し、W受賞したこともまた県内初の出来事なんです。本当にすごい！この記念すべき快挙を、今年6年目に突入した「やいた大好き」コーナーでたっぷりご紹介しました。やいた応援大使として、一緒にお祝いできてうれしい限りです。

取材を通じて、情熱をもって広報紙を作成する職員の皆さんと、温かく見守り支えてくれる地域の皆さんがいる矢板市、改めてすてきなまちだと思いました。本当におめでとうございます。



現在、生涯学習館ロビーでは、お祝いメッセージが自由に書き込める特製メッセージブックを用意しています。すでに数が足りていないということで、私もメッセージブック作製を手伝わせていただきました。

また、生涯学習課公式アカウントで展開している「広報やいた日本一！お祝いけん玉チャレンジ」ですが、生涯学習館では、「お祝いけん玉」を用意して、いつでも参加者をお待ちしています。



皆さんも、お近くにお越しの際は、生涯学習館にお立ち寄りいただき、今回の快挙と一緒にお祝いし、楽しみましょう！

日本一の広報紙がある矢板市民ってうらやましい！

「Yaita にはいつも愛がある」

歴代の広報担当者が切り拓いてくれた道があり、最高の笑顔を向けてくれる地域の皆さんがいて、毎月の広報紙が作られています。今回の受賞は、矢板市と地域の皆さんが共に育み、積み上げてきた道のりが評価されたもの——。

引き続き私たち広報担当は、それらの想いを大切にしながら、「地域の皆さんと共にある広報紙」を目指して精進してまいります。これからも広報やいたをよろしく願いいたします。



撮影：だいじさん

Thank you for everything